

表紙・目次

出版者	長野県ことばの会
引用	ことばの研究 1: (1980)
発行年月日	1980-09-20
URL	http://hdl.handle.net/10091/00022333

長野県ことばの会誌

ことばの研究

1 号

会誌の発刊に寄せる	馬瀬 良雄	1
論考		
日本語の主語について	細川 英雄	2
——ことばから文法教育へ——		
ことばの指導	立川 光臣	11
共通語と方言の接触	沖 裕子	(1)
——共通語使用の価値について——		
54年度講演と研究発表要旨		
第1回		
ことばの研究へ向けて	馬瀬 良雄	18
養蚕語彙について	宮島 正範	18
方言の教育——ものもらいの方言——	塩入 元義	19
国語表記論の一構想	京極 興一	19
第2回		
テレビおよび都市の言語の個人の言語形成に及ぼす影響	馬瀬 良雄	20
言語生活とその課題	青木千代吉	20
第3回		
ことばの問題	加藤 静一	21
北越中世文書の国語史的研究	沼本 克明	21
言語障害児学級から	手塚 央	22
第4回		
ふたつのアクセント	工藤 敦男	23
文章主義文法指導の実践	小山田袈裟夫	24
随想		
漢字を考える	京極 興一	25